

# 議 会

# だより

No. 278  
議会広報委員会

## 臨時会

平成26年第3回臨時会は6月24日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

### 推薦決定

○農業委員会委員の推薦について  
中村 広治氏 (新)

### 意見書の提出について

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○規制改革会議意見書の取扱いに関する意見書について

## 一般質問

6月17日に開会された第2回定例会では、2名の議員から、2件の一般質問がありました。



小松議員

### 今後、農業委員会の果たすべき役割について

#### 小松議員

近年、農業者の離農が加速され、北竜町でも過去10年で100戸の農家が離農している現状にある。農家戸数は減っても北竜町の基本農地面積は変わらない、そういう状況の中で今後、耕作放棄地等が発生することも予想される。農業委員会として今後果たすべき役割、さらに農業経営体の理想的な在り方について考えを伺う。

#### 佐藤農業委員長

農業委員会の職務は、農地の権利移動や転用にあたって

農地法に基づき公正な審査を行い、許認可を実施することにある。「かけがえのない農地と担い手を守り、後継者を育成し、力強い農業者をつくる」という理念のもと、町の産業の根幹をなす農業振興を担っている。

耕作放棄地は、全国的な問題



題でもあり、農地の利用状況調査を始め、農地利用実態の把握と遊休農地発生 of 未然防止に努めている。

農村の目指すところは、認定農業者等家族経営体、集落営農、農業生産法人、農業団体や企業などの多種多様な経営体が、精力的に事業展開を進められることにある。農業委員会としては、多様な経営体が魅力ある産業として、事業に取り組まれるように農地保有合理化事業及び農地中間管理事業などの農地流動化対策の推進に努めていく必要がある。

今後とも、農地制度の適正・円滑な実施を担う組織として、農業者は勿論、幅広く新たな農地制度を周知するとともに、制度の適正な運用を通して、関係機関との協力、ご理解を得ながら業務を推進して参りたい。



澤田議員

## スクールバスの運行について

### 澤田議員

スクールバスは現在、住民混乗式2台、生徒のみ1台で遠距離通学対策をしている。少子化により利用者の減少や子ども達の交通安全の面、また徒歩通学途中に不審者に声をかけられるという事件も起きており、スクールバスに乗れない地域の子も達への安全面も考慮する必要がある。本年から本格的に実施された地域公共交通対策による乗合タクシーの自宅前送迎との関連からスクールバス3台を有料の住民混乗式とした。将来的には一般住民は自宅前送迎とし、スクールバスは生徒のみとする方針であり、町内全域のすべての生徒がスクールバスを利用できるよう早急に取り組むべきと思うが考えを伺う。

### 本多教育長

スクールバスの購入は、国

のへき地児童生徒援助費補助

金を受けており、児童2km、生徒3km以上が補助金の交付対象となっている。児童生徒の登下校時の安全確保の面から全員がスクールバスを利用する事は有効な手段の一つと考える。しかし、すべての児童生徒を対象にすると、市街地の乗降箇所や遠距離通学者の乗車時間、一般住民の利用が多い状況から早期に住民混乗から児童生徒だけを対象に運行するのは難しく当面、現状での運行を考えている。中学生は公民館前から中学校間の利用を認めており。スクールバスを利用しない児童生徒の安全面は、こども見守りサポートや保護者、教職員、沼田警察署などの協力で取り組んでいる。

### 澤田議員

地域公共交通とスクールバ

スの利用の在り方として聞くが、地域公共交通の導入について紆余曲折があり、常任委員会でも2度にわたり説明を求めた。基本的に乗合タクシーによる自宅前送迎が完全実施される過渡期に当たることから、スクールバスの住民混乗を有料とする事に理解した。現在、一般住民のスクールバス利用が多いからスクールバスを児童生徒だけとするのは難しいと言うが、当初予定していた自宅前送迎の完全実施時期はどの時点と考えているか。自宅前送迎が完全実施された場合、スクールバスの利用をすべての児童生徒を対象にする考えはあるか。

### 高橋企画振興課長

4、5月の実績はスクールバス627人、乗合タクシー129名で乗合タクシーに乗り慣れた頃移行したいが、時期は申し上げられない。スクールバス利用の町民の意向もあるの、より一層地域公共交通について理解頂く努力をしたい。

### 本多教育長

スクールバスが地域公共交通と切り離された時どうするかは、市街の中での乗降をどうするかがある。体力増強の面や地域の見守りの中から通学する事の意義もあり、市街地については今のところ考えはない。今後の状況により検討したい。

### 澤田議員

一般住民の利用が多いので様子を見たいと言うのは疑問。地域公共交通と言う事業に取り組んで自宅前送迎をやるという政策を出した。多少乗合タクシーの料金が高いがスクールバスは本来児童生徒の利用であり、時期を明示した中

で交通対策とすべきでないか。

スクールバスも更新時期がきたら不要な大きさの物を導入する必要も無いので政策と言う面を考えていくべきでないか。また、教育の平等と言う延長線からすべての児童生徒を対象にすべきと思う。特に小さい子の親にとつては安心できる面があるのでないか。

### 竹内副町長

乗合タクシーの利用者は高齢者で、新しい方法に慣れるまで時間がかかる。大体の方が乗合タクシーに移行したと判断できる状況にあれば明確に出来るが、今はまだ明確に出来ない。

## 議員研修

### 北海道町村議会議員研修会（7月4日）

#### 第一部

「議会改革のこれから」と題して、法政大学法学部廣瀬克哉教授の講演を聞いた。国

の財政の悪化や人口の減少などにより、国がやっていた事を地方自治体に移してもらいたいと言う方向なので、その



ためには地方自治体と地方議会が自己決定と自己責任を果たさなければならぬ状況にある。行政運営には国でいう法律と同じ意味を持つ条例の制定が不可欠である。北竜町議会も早くから議員定数や議員報酬の削減、議会議決を通して行政運営への積極的な関わりなど住民にとつて何が大切か常に考え、活動してきた。よく言う車の両輪としての役割だが、なかなか住民に理解されていない面がある。そんな事もあつて、議会基本条例を作つて年一回は必ず町民に議会報告会をする事になっている。とにかく議定会定例会にも見に来てくださいとお願ひもしている。議員は勿論、町職員も傍聴者が居るだけで緊張もするし、議会運営上縮まり

のある議会になるように思う。講演では今後の自治体経営は縮小の時代なので、住民の納得と協力が無いと政策としての効果がないという。首長と議会の関係を明確にすることで互いに緊張感を持つた行政運営が大切な事であるという。条例制定についても、住民によく理解される努力をすべきで、行政と議会の中だけで分かっているだけではだめだと言ふ事であつた。また、議決案件については、決まつた事を伝えるだけではダメでどの様な議論があつたか、どの様な政策決定に至つたかが大切と話されていた。(澤田)

## ■ 第一部

「これからの日本の政治」と題して、テレビ等でおなじみの読売新聞特別編集委員、橋本五郎氏の講演があつた。安倍内閣の支持率は、集団的自衛権の行使や消費税8%にもかかわらず高い支持率(48%)を得ている。それは丁寧な説明と、経済を良くする成長派(対し財政再建派)として取り組むプロセスにあると



思う。

憲法解釈を変えることは、立憲主義に反するが改正すべき：認めないならば米国に守られなくてよいのか：英国のサッチャー首相のように私のビジョンに賛成ならつて来い、指導者は断固としてやるべきである。

安倍内閣に欠けていることは、「美しい国日本」と言うが今こそ心とすべき故郷、地方をどう再生するか考えていない。市町村合併で何も幸せになつていない。

講師の故郷は秋田県三種町で廃校を利用して図書館を建てたこと等故郷に対する熱い思いと母親への思慕を語られた。

最後に範は歴史あり(後藤新平)

①何事も手を抜いてはいけな

い、常に全力でやれ。  
②放漫になつてはいけない、仕事は常に謙虚であれ。  
③どんな人でも嫌いに成ることはない、自分より優れているものがある。(佐光)

## (参考)

※立憲主義Ⅱ政治権力の恣意的な支配から国民の基本的人権自由を守るため、憲法によ

つて権力を制限しようとする考え方。

※集団的自衛権の行使を認められた閣議決定は、日本が他国の戦争に加わることを可能にし、不戦を誓つた憲法9条の下、海外での武力行使を禁じてきた平和主義が、海外での武力行使に道を開くことにつながる事が奇遇される。

## 議員コラム

いろんなカタチの友人が居て、いろんなカタチの別れ方をする。どんなカタチの友人の失いかたであろうとこんなに悲しいことはない。議員になろうと思つたのは「この町から人が去るということに対する寂しさです。笑顔で暮らすことの出来るまちづくりへの思いでした。」

このまちの恵まれた自然の中で多くのことを学んできました。カラダと自然が結びついていることを強く感じて来ました。人間の本质を思い起

こさせるのが北竜というまちです。便利な世の中になつてパソコンや携帯電話のない生活は想像出来ない時代ですがそれがなくても生きて行ける「実感」が必要だと思います。「会いたかつた」つて思う気持ち、それはメールでは伝わりません。

日本酒で乾杯！  
手拍子で唄を！  
私達の町はそんな暮らしたいいのでは？

(佐々木)